



---

# 環境省における 海洋環境教育に関する取組について

---

令和6年6月28日（金）

環境省 水・大気環境局 海洋環境課

# 「学びの地図」を活用した海洋環境教育の実践支援

- 学校等の教育現場における環境教育の実践を支援するため、環境省では、**環境教育・ESD（持続可能な開発のための教育）**実践のためのWebコンテンツ「**学びの地図**」を作成、公表。海洋に関するものも公表している。
- 「**学びの地図**」では、学習指導要領において環境教育との関連性が高い各教科の単元と、ESDモデルプログラム（授業展開例・実践例）とを関連付けて整理しており、検索機能を利用するなどして、効果的・効率的な環境教育の実践に役立っている。

## 「学びの地図」を活用した環境教育の実践

### SDGsゴール14「海の豊かさを守ろう」から検索



SDGsのゴール14「海の豊かさを守ろう」を選択すると、関連する教科・単元とモデルプログラム（例：小学校・高学年の道徳「生命の尊さ」、「干潟の生き物観察から世界を見よう！」）が抽出される。

### 実施場所「海」から検索



実施場所として「海」を選択すると、関連するモデルプログラムや実践例（例：モデルプログラム「ふるさとと美しい海を守ろう！」、実践例「（大阪）西島の海に行こう」など）が抽出される。

「学びの地図」：[http://eco.env.go.jp/lib/env/cn\\_education/manabi\\_no\\_chizu.html](http://eco.env.go.jp/lib/env/cn_education/manabi_no_chizu.html)



## モデルプログラム（授業展開例）

（例）「ふるさとと美しい海をまもろう！」

7・8・9・10年 国語	自分たちができることを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>海のゴミをなくすためにできることを話し合う。</li> <li>きれいな海を守るために自分たちができることは何かをグループごとに考える。</li> <li>ポスターやチラシ、看板を作るなどの作業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（ポイント）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが行うことはならないという気持ちから、多くの人に伝えたいという思いを大切にする。</li> <li>管理者の街談・漁師などよく相談し、ゲストティーチャーとして授業に参加してもらい、子どもたちにアドバイスしてもらった場を設ける。</li> <li>ポスターやチラシ、看板など、作りかけるための手立てを考え、製作する場を設定する。（画用紙・ペンキ・木材など）</li> </ul> </li> </ul>
11・12年間 国語	ふるさとと美しい海を守るために行動しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスターや看板をどこに設置したらよいか、チラシなどはどこで配るかを考える。</li> <li>ポスターや看板を設置したり、チラシを配ったりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスターや看板を設置するには許可や設置場所の地域の人の合意が必要であることも気づくようにする。</li> <li>製作したポスターやチラシ、看板を配布させたり、設置させたりする手順を保證する。</li> <li>安全に留意する。</li> </ul>

## モデルプログラムの実践例

（例）大阪「西島の海に行こう」  
（阪南市立西島小学校2年生による実践）

**プログラムの目標**

「海のゆりかご」といわれるアマモ場の観察により、生物の多様性やつながりを体感することができます。また、人々の生活と海の関係（相互性）に気づき、日常生活において自然環境に配慮しようとする意識を育てます。さらに、地域のアマモ場育生の取組に学校として参加することで、地域の一員であるという意識を育み、地域の方との交流を深めます。そして、地域の自然と人のつながり、地域の文化、自然への愛着などの価値観を身に付けることができます。

アマモ場の観察をしました。      アマモ場の観察を終ります。      いろいろな魚と形の海綿を試しは作りました。

**参加者の声**

3年生の発表ははくわしくて、大阪西の事がよくわかりました。おもしろい魚がいっぱいいることがわかったので大阪西の海を大切にしようと思っています。

**モデルプログラムの実践による海洋環境教育**  
地域の身近な海を教材とすることにより、  
海洋における生物の多様性      社会生活と海とのつながり  
森、川、干潟、海による水の循環      漂着ごみによる漁業の影響  
気候変動の海への影響 など  
について、探究のプロセスを通じて、深い学びを得ることができる。

# 「環境教育・ESD実践動画100選」を活用した海洋環境教育の実践支援

- 学校や社会教育施設等の教育現場における環境教育の実践を支援するため、環境省では、環境教育・ESDの実践事例を3分程度の短編動画にまとめた「環境教育・ESD実践動画100選」として公募の上、選定・公表。海洋に関するものも公表している。新たに取り組もうとしている方がやってみようと思える、参考になるような事例の動画を集めたもの。
- 2023年度は81件を選定し、2024年度も引き続き公募予定。

## 「実践動画100選」を活用した環境教育

環境教育・ESD 実践動画 100選

子どもを対象としたSDGsや環境教育、ESDの3分間の実践動画を選定しました！

～始めよう！広げよう！学びの取組～

環境教育・ESD実践動画100選：<http://eco.env.go.jp/jissendoga/kokai/>

### テーマ「公害地域の再生、水・大気・土壌・海洋環境保全」から検索

検索機能

学校教育部門 | 社会教育部門 | 種別：すべて | 地域：すべて | 公害地域の再生、水・大気・土壌・海洋環境保全

テーマ：すべて  
脱炭素社会の実現、地球温暖化対策、再生可能エネルギー促進  
生物多様性保全、自然環境保全  
循環型社会構築  
公害地域の再生、水・大気・土壌・海洋環境保全  
その他

How can we make clean water?  
学校法人東原学園やまた幼稚園  
カンバウス養育

三原小 海ごみプロジェクト  
八丈町立 三原小学校  
柄澤亮

カーミーゾ探検隊  
沖縄県洞爺立湧川小学校  
壽匠武士

## 社会教育部門

(例) ESD教育の実践を無人島で！  
SDGs キャンププロジェクト

社会教育部門 | NPO/NGO等 | 環境 | 公害地域の再生、水・大気・土壌・海洋環境保全

ESD教育の実践を無人島で！SDGs キャンププロジェクト

公益財団法人 財団法人 VICA YMCA 阿波島環境再生センター  
高川直希

(例) 海の生きもの調査 & ごみ拾い  
「全国砂浜ムーブメント」

社会教育部門 | NPO/NGO等 | 環境 | 公害地域の再生、水・大気・土壌・海洋環境保全 | 海洋・水

海の生きもの調査 & ごみ拾い「全国砂浜ムーブメント」

公益財団法人 日本自然保護協会  
三好・真田・櫻井

審査員コメント  
砂浜の清掃活動を通して子どもが自然とつながるという目的は、日本全国の環境団体が自らの活動（教材、調査、全国への広がりの活動）を通じて実現しようとしていることと類似した。

**実践動画100選で紹介されている海洋環境教育**

上記以外にも、海のゴミ問題や、サンゴ学習など、地域の資源を活かした学習により、子どもたちが興味・関心を深めていくプロセスを紹介している動画、子どもたちが主体的に考え、学校全体や地域の団体と連携して取り組んでいることがよくわかる取組がたくさんあった。

- 1 海洋ごみに係る学習用教材として、授業で利用しやすい素材を提供することを目的として作成。
- 1 対象者ごと（小中学生用及び高校生用）に教材を作成し、環境省HPに掲載。

## 小中学生用

### 目次

海辺にあるもの	4
海洋ごみって知ってる？	6
海のごみと川のごみは似ている	7
風と海流によってごみが流れていく	8
海洋ごみが起こす問題	9
海洋ごみ問題の解決のために	—
身近な地域のごみを調査をしよう！	
きれいな海にするために	
教科及び単元におけるスライド組み合わせ	



海洋ごみが起こす問題

ポロポロになったペットボトル

小さな破片になる

きれいな海にするために

砂浜で見つかった小さなプラスチック

「マイクロプラスチック」  
5mmより小さなプラスチックのこと

海に流れ出るごみを減らすにはどうしたらよいでしょうか。  
きれいな海にするために、自分ができることを考えて行動しましょう。

写真提供：岡山県

---

# 海洋ごみに関する普及・啓発の取組

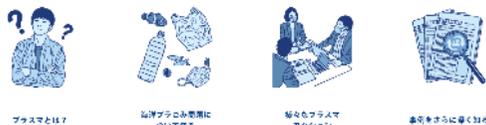
---

- | unnecessary ワンウェイプラの抑制や代替品の開発利用などに自ら取り組み、SNSなどを通じて拡散。また、対話・交流を促進。
- | 消費者・自治体・NGO・企業の約3,400件の取組を登録。

## ● プラスマ特設サイト



あなたにとってのプラスマナビ



<http://plastics-smart.env.go.jp/>

SNS発信  
(プラスチックスマート)



## 対話・交流を活性化

地方公共団体

NGO・  
NPO

研究機関等

企業・  
業界団体

環境省

プラスマシンポジウム  
先進事例、連携事例の紹介

## 日本財団との共同事業

- **海ごみゼロウィーク**(2024)
  - ・全国一斉清掃アクション
  - 【春】5月30日～6月9日
  - 【秋】9月20日～9月29日



<https://uminohi.jp/umigomi/zeroweek/>

# 一人ひとり、企業、自治体ができること

各省庁・業界団体・企業・自治体・NGOなどの幅広い主体から、海洋プラスチック問題の解決に貢献する”プラスチックとの賢い付き合い方”を募集しています。

## ◎ 不必要な使用を減らす

- ü 軽量化・薄肉化
- ü マイボトル・マイバッグ
- ü シェアリング

## ◎ 使用後は適正処理

- ü 分別・選別
- ü 再生プラの活用  
PET Bottle to Bottle

個人・消費者  
民間企業・業界団体  
国・地方自治体  
NGO・NPO 等

## ◎ 分解されるものを使う

- ü 生分解性プラスチック
- ü セルロース

## ◎ 処理から漏れたら回収

- ü 清掃活動（街なか、河川、海岸等）
- ü アダプト・プログラム

これら活動に対する啓発イベントやメディアキャンペーン、  
海外支援などの取組も募集

# プラスチックスマート参加方法や発信方法

企業等による取組登録や、個人による取組やアイデアの写真・コメントをSNSで発信を促進。

## 企業・団体等の取組登録

「プラスチックスマート」WEBサイト（   で検索 ）にアクセスし、**取組登録が可能。**



プラスチック・スマートを日常に

登録はこちら

団体登録、取組登録がすることができます。

<https://plastics-smart.env.go.jp/>

## ロゴマーク

ロゴマークはニュースリリース・商品カタログ・名刺などに使用可能



## SNSでの発信

取組やアイデアの写真・コメントをSNS（Instagram・Facebook・Twitter等）で「#プラスチックスマート」とタグをつけて投稿

< 取組やアイデアの例 >

- ごみ拾いイベントに参加した
- マイバッグやマイボトルを活用し、ワンウェイのプラスチックの使用を控えた



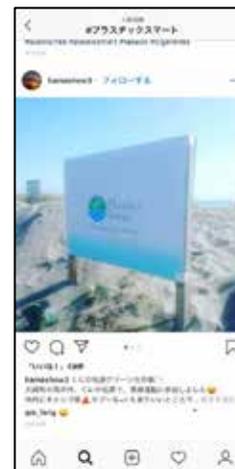
Instagramで  
「#プラスチックスマート」  
をみる



Facebookで  
「#プラスチックスマート」  
をみる



Twitterで  
「#プラスチックスマート」  
をみる



## プラズマアクション最新事例

### プラズマアクション最新事例



- 海プラごみ対策の課題や取組のヒントが得られるプラスチックスマートプラットフォームを構築
- 更に多くの方々の理解促進につなげる

## Interviewページ（取組の深掘り）

プラズマ登録取組の深掘りを目的として、始めたきっかけ、プロセス、注意点、苦労、成果等を伺うインタビューを実施し、その内容をサイトで紹介



## メルマガ配信

環境問題の解決に向けた、イベントやシンポジウムのご案内、プラスチック・スマートの関連情報などをお知らせ。取組登録時にメルマガ登録も同時に完了



## 学習資料

### 学習用教材



環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務  
海洋ごみ学習用教材  
小中学生用



環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務  
海洋ごみ学習用教材  
高校生用

### ハンドブック



#### 海洋プラスチックごみはどこから?どのくらい?

「海洋にプラスチックごみはどのようにして入るのか?」  
「海洋にプラスチックごみはどのようにして入るのか?」  
「海洋にプラスチックごみはどのようにして入るのか?」

海洋プラスチックごみとは何か? 海洋に漂着するプラスチックごみの種類や量、その影響、対策について詳しく説明しています。

海洋プラスチックごみの種類や量、その影響、対策について詳しく説明しています。

海洋プラスチックごみの種類や量、その影響、対策について詳しく説明しています。

ρ 登録取組総数約3,400件（2024年4月時点）

## 登録取組の一例

### ペットボトル自動回収機

©セブン&アイ・ホールディングス



### マイボトル用ドリンクサービス

©BOTLTO



### プラスチックごみを削減したラベルライター

©カシオ計算機株式会社



### ヘアケア・食器用洗剤ボトルで海洋廃棄プラスチック削減

©P&Gジャパン / テラリサイクル



### 繰り返し使えて最後は土に還るラップ「aco wrap」

©aco wrap



### 傘のシェアリングエコノミーによるビニール傘の削減

©アイカサ



- 海ごみ問題解決に向けて、環境省のPlastics Smartや日本財団のChange for the blue等の取組で醸成された機運を一層高めるため、2019年（平成31年）より共催による「海ごみゼロウィーク」をスタート。
- 5月30日「ごみゼロの日」、6月5日「環境の日」、6月8日「世界海洋デー」の3つの記念日を含む期間で「春の海ごみゼロウィーク」、9月に実施される「World Cleanup Day」からの約1週間の期間を「秋の海ごみゼロウィーク」として実施。2023年は1,120カ所、46.5万人が参加

# 海ごみゼロ ウィーク

UMIGOMI Zero WEEK



全国一斉清掃活動「海ごみゼロウィーク」  
©日本財団、環境省

2024年

【春】 5月30日(木)～6月9日(日)  
【秋】 9月20日(金)～9月29日(日)

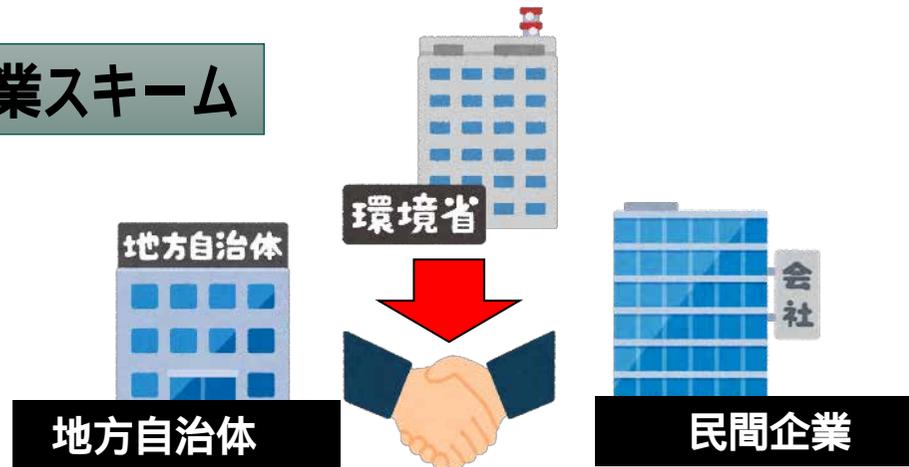
---

# ローカル・ブルー・オーシャン ビジョン推進事業

---

- 1 海洋ごみの回収・発生抑制の実効性を高めるため、自治体と企業等の連携による自走性ある取組の実証を支援し、海ごみ法に沿って広く展開。
- 1 漂流漂着ごみの回収処理負担の軽減や地域の魅力向上にも貢献。

## 事業スキーム



## 事業実施例

代替素材等やり  
サイクル品の開  
発・啓発等



ポリタンクをアッ  
プサイクルした  
製品を活用した  
啓発  
@山口県

エコ容器使用、回収、  
リサイクルによるごみ  
発生抑制  
(内陸部での取組)



イベントにおける  
回収・リサイクル  
システムの構築  
@弘前市

「ナッジ理論」の活  
用と実践によるご  
み排出抑制



観光客をごみ  
拾い側にする  
イベントの実  
施  
@和歌山市

海ごみ対策を売りにした地域ブランドや、地元企業  
の海ごみ対策技術の活用など、**地域の特徴に合った  
事業プラン**策定

**企業と自治体をマッチング**し、連携体制を構築  
地域住民の海ごみ問題への**理解を増進**し、住民を  
巻き込んだ地域おこしで**需要・参加を喚起**  
海ごみの回収や発生抑制の実効性向上の**効果・課  
題を事後検証**し、**PDCAサイクルを回す**  
**海ごみ対策法に基づく計画・対策のモデル**とし

て一般化し、全国各地域での実装を促進

「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン（2050年海プラ追加汚染ゼロ）」を目標としつつ、前倒しで  
2040年までにゼロにする野心をもって、具体的アクションとして、国内外に広く発信。

令和6年度は7自治体で実施予定。

## 広島県

海岸清掃や海ごみによるアート作成・展示などの活動を番組として放送し、海洋ごみ削減に向けた自発性や当事者意識を醸成するための“仕掛けづくり”、“広島”の海へのファンづくりを行う。

## 広島県

地域を巻き込み実施するアクションプロジェクト「スポーツ×海洋プラスチック」を実施、清掃イベントやアップサイクルの見える化を行う。スポーツの要素を加え間口を広げ、プラスチック削減の意識醸成を図る。

## 京都府

ペットボトルの効率的な回収でごみとしての発生を未然に防ぎ、廃PETを「西陣の織物」にアップ・リサイクルする仕組みの構築し、その普及啓発により一般消費者の意識改革と行動変容を目指す。

## 度会町

児童・生徒から資源循環の考え方を各家庭に広げることで、ごみ減量化やプラスチック発生抑制等の推進と幅広い世代へ向けた啓発に取り組む。また事業者からの情報発信により、町民の意識醸成に繋げる。

## 吉富町

小学生及び地元企業関係者を対象に海洋ごみ等を活用したアップサイクルワークショップを実施し理解を深め、町内全体の行動変容につなげる。また、この取組を情報発信し、郷土愛醸成やブランディングを図る。

## 今治市

地域住民と市が協定を結び、その過程で中高生が学び感じたことを発表してもらい、活動の必要性を市民へ伝える。また商工会議所と自治体が地域のために考え行動する枠組みの組成と、その展開を目指す。

## 和歌山市

ウミプラーを横展開するため、堺市と連携し、課題の共有や独自イベント等の実施し、横展開がどのような効果・課題があるかについて検証を行うと共に、ウミプラーを活用した海洋ごみ対策を展開する。